

令和6年度沖縄県立北谷高等学校学校評価
教職員による自己評価・学校関係者評価のまとめ

1 実施期間

令和7年1月16日(木)～ 令和7年2月3日(月)

※保護者評価再調査 令和7年3月7日(金)～令和7年3月11日(火)

2 回答者数(過年度比較)

年度	学校 関係 者	生徒				保護者				職員
		1年生	2年生	3年生	合計	1年	2年	3年	合計	
R4	7	122	25	85	232	107	61	55	223	37
R5	6	202	187	161	550	74	71	47	192	39
R6	5	144	106	147	397	48	30	19	97	40

- ・生徒及び保護者の回答率の大幅な減少
- ・職員回答数は前年度並み

3 評価結果の概要

令和6年度の学校評価において、教職員による自己評価では多くの項目で肯定的回答が高い割合を示している。特に「学習評価の適正化に努めている」(肯定的回答 100.0%)や「生徒・職員の人権意識の高揚や生命尊重、いじめ防止等の取り組みを適切に行っている」(同 100.0%)など、教職員側の評価が非常に高い領域が目立つ。一方で、「生徒に対し、『身なり指導』に力を入れている」(肯定的回答 45.0%)や働き方改革に関連する「個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている」(同 37.5%)などは肯定的回答が低く、改善が必要な項目も確認された。

学校関係者による評価では、「生徒・職員の人権意識の高揚や生命尊重、いじめ防止等の取り組みを適切に行っている」(肯定的回答 100%)や「生徒の職業観・勤労観の確立を目指した進路指導に努めている」(同 100%)、さらに「PTA活動の連携強化」(同 100%)など、多くの側面で非常に高い評価が与えられている。一方、「一人一台端末(タブレット等)を活用した授業の工夫に取り組んでいる」(同 40%)や「読書指導の強化に努めている」(同 40%)といったICT活用や読書指導に関しては肯定的回答が低く、今後さらなる取り組みが望まれる状況が示唆された。

4 評価結果の詳細

(1)教職員による自己評価

〔1. 学校経営〕

「教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、生徒の実態に即し、適切な内容である」(肯定的回答 90.0%)など、方針の方向性については高い評価が示されている。また、「同方針が教職員間で十分に共通理解されている」も 90.0%であり、学校全体の経営方針がよく浸透していると考えられる。一方、「特色ある学校づくりが織り込まれ、適切に立てられている」(72.5%)は他の項目に比べ肯定率がやや低く、今後はより具体的な独自性や特色づくりが課題となる可能性がある。

〔2. 教育計画〕

「教育計画は、学校運営方針に基づき、適切に立案されている」(肯定的回答 97.5%)と「教育計画は、年間計画に基づき、適切に実施されている」(同 97.5%)がほぼ同水準で高く、行事やカリキュラムの精選・実施状況に対する教職員の満足度が高いことがうかがえる。計画段階から運用まで連携が取れており、教職員同士の共通理解と実行体制が整っているといえる。

〔3. 学習指導〕

「生徒の基礎学力の定着を目指した学習指導を適切におこなっている」(肯定的回答 90.0%)や「生徒の学力向上を目指し、創意工夫した授業を実践している」(同 95.0%)が高い評価を得ているほか、「学習評価の適正化に努めている」(同 100.0%)は自己評価の中でも最も良好な結果である。一方、「一人一台端末(タブレット等)を活用した授業の工夫に取り組んでいる」(77.5%)にはおよそ 2 割の否定的回答があり、ICT 活用の充実が引き続きの課題であると考えられる。

〔4. 研究研修〕

「学校経営方針の実現と教職員の資質向上を目指し、職員研修を計画的に実施している」(肯定的回答 92.1%)という点で校内研修体制そのものは高く評価されている。しかし、働き方改革の項目とも関連し「より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している」(55.0%)は肯定が半数強にとどまり、実施内容や実施頻度に加えて個々の教員が研修を活用できる時間的・環境的保障が十分でない可能性がある。

〔5. 図書視聴覚〕

「図書館、視聴覚機器、IT 機器等を効果的に活用している」(肯定的回答 84.2%)は比較的良好な評価が示されている。しかし、「生徒に対する読書指導に力を入れて取り組んでいる」(60.0%)は 4 割が否定的回答を示しており、読書活動の推進やその成果が十分に得られていないと考えられる。

〔6. 総合的な探究(キャリア教育)〕

「『総合的な探究の時間』は内容が充実し生徒は意欲的に参加している」(74.4%)や「生徒の自己理解や自己実現につながるキャリア教育が実践されている」(80.0%)は概ね好評であるものの、2 ～ 3 割の否定的回答もある。探究活動やキャリア教育の内容・方法が生徒の興味や進路に十分対応しているかなど、さらなる検討が必要とみられる。

〔7. 特別活動〕

「生徒会活動は、活発である」(95.0%)や「学校行事や HR 活動を通して生徒の主体性の育成に取り組んでいる」(87.5%)など、生徒の自主活動や特別活動が高く評価されている。主体性を養う機会として特別活動がしっかり機能していることがうかがえる。

〔8. 生徒指導〕

「生徒・職員の人権意識の高揚や生命尊重、いじめ防止等の取り組みを適切に行っている」(肯定的回答 100.0%)や「カウンセラーと学級担任が連携し、充実した生徒支援体制を築いている」(95.0%)など、生徒指導体制は総じて高評価である。しかし、「生徒に対し、『身なり指導』に力を入れている」(45.0%)は否定的回答が 55.0%であり、規律指導の進め方について教職員間で意見が分かれている可能性がある。

〔9. 進路指導〕

「進路指導部と学年会が連携した適切な進路指導がおこなわれている」(92.5%)や「生徒の希望進路やニーズに応じた課外講座を開設している」(85.0%)など、総合的な進路支援体制の評価は高い。一方、「生徒の多様な進路に対応した教育課程の改善に努めている」(71.8%)では 3 割近い否定的回答が存在し、急速に変化する社会や地域の需要に合わせた柔軟な教育課程の検討が求められる。

〔10. 環境美化〕

「日々の環境美化活動は、年間を通し、計画的に実施されている」(94.9%)が非常に高く、活動自体は好評である。一方、「清掃指導は、全職員が共通理解の下で、十分に取り組まれている」(75.0%)は 2 割強が否定的であり、指導方法や役割分担にさらなる明確化が必要と考えられる。

〔11. 健康安全〕

「定期健康診断や諸検査を円滑に実施し、生徒の健康管理を適切におこなっている」(肯定的回答 100.0%)や「生徒に対し、性教育や薬物乱用防止教育を適切におこなっている」(同 100.0%)など、健康や安全管理に関しては教職員の認識も実践も非常に高い水準にある。「防災教育の実施」(95.0%)も含め、大きな問題点は示されていない。

〔12. 家庭地域社会との連携〕

「学校の情報を保護者や地域へ適切に発信している」(肯定的回答 95.0%)や「PTA活動は、教職員と保護者が連携し、充実している」(82.5%)など、対外的な連携に関しては概ね高い評価を得ている。ただし、「北谷町教育委員会と連携し、教育活動の改善や充実に取り組んでいる」(75.0%)は 25.0%の否定的回答があり、行政機関とのさらなる協力関係構築が課題として挙げられる。

〔13. 働き方改革〕

「同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています」(肯定的回答 87.5%)は高い評価であるが、「個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています」(同 37.5%)は否定的回答が 62.5%と最も高い。業務量や時間管理の問題が依然として大きいとみられる。また、「より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している」(55.0%)も肯定率が半数程度にとどまり、研修環境や支援体制の強化が求められる。

(2) 学校関係者による評価

〔1. 学校経営〕

「教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、生徒の実態に即し、適切な内容である」(肯定的回答 80%)や「教職員と保護者で共通理解が図られている」(80%)が示すように、学校方針そのものの評価は概ね良好である。教職員の自己評価ほどの数値ではないが、全体的な方向性に対する支持は高いといえる。

〔2. 教育計画〕

「教育計画は、学校運営方針に基づき、適切に立案されている」(肯定的回答 80%)と「教育計画に基づき、適切に教育活動を実践している」(同 80%)がいずれも 8 割を占めている。教職員の評価(97.5%)よりはやや低いが、学校関係者から見てもおおむね適切な計画と実行がなされていると認識されている。

〔3. 学習指導〕

「教員は、生徒の基礎・基本の定着を図る学習指導を適切におこなっている」(肯定的回答 80%)や「生徒個々の実態に応じた授業の工夫に努めている」(同 80%)が示すように、多くの面で肯定的である。一方、「教員は、生徒の成績を、公正・適正に評価している」(60%)には 4 割の否定意見があり、評価基準の透明化や丁寧な説明がより求められる。また、「一人一台端末(タブレット等)を活用した授業の工夫に取り組んでいる」(40%)は ICT 活用に対する不十分感が強く表れている。

〔4. 研究(校内研修)〕

「教職員の資質向上を目的とした校内研修を計画に実施している」(肯定的回答 80%)は肯定率が高く、学校外から見ても研修体制が整っているとみられる。ただし、その研修成果や学びをどのように教育活動へ反映しているか、さらに周知を図ることによって、保護者や地域社会の理解と協力を得られる可能性がある。

〔5. 図書視聴覚〕

「図書館、視聴覚機器、IT 機器等を有効に活用している」(肯定的回答 60%)であり、教職員側の評価(84.2%)より低い。この差は、学校現場と外部視点の認識ギャップが考えられる。また、「読書

指導の強化に努めている」(40%)は過半数が否定的な評価をしており、読書指導の実践や効果について、学校関係者へ十分伝わっていないか、あるいは実際の取り組みがまだ十分でないかのいずれかと推測される。

〔6. 総合的な探究(キャリア教育)〕

「生徒の個性や興味・関心を理解し、個々の適性に合ったキャリア教育を進めている」(肯定的回答 100%)は最高水準の評価である。教職員の自己評価よりも高く、学校関係者が探究活動やキャリア教育の成果を非常に高く認めていることがわかる。

〔7. 特別活動〕

「生徒会の活動(生徒による主体的、自治的な活動)は、活発である」(肯定的回答 80%)や「生徒の学習活動と部活動をバランスよくおこなっている」(同 80%)は、特別活動における生徒の主体性や健全な学校生活の維持が十分に評価されている証左である。

〔8. 生徒指導〕

「生徒・職員の人権意識の高揚や生命尊重、いじめ防止等の取り組みを適切に行っている」(肯定的回答 100%)は非常に高く、学校全体としての人権教育やいじめ対策が有効に機能していると捉えられている。一方、「身なり指導に力を入れている」(60%)や「面接指導やマナーアップ指導を強化している」(40%)など、規範指導や社会性育成に関わる領域については、さらに具体的かつ徹底した指導を望む意見が少なくないとみられる。

〔9. 進路指導〕

「進路指導は、教員間の連携の下、適切におこなわれている」(肯定的回答 80%)は概ね好評であり、体制面での連携が評価されている。しかし、「生徒の進路活動を支援する授業実践がおこなわれている」(60%)や「生徒が希望する進路やニーズに応じ、課外講座等の開設に努めている」(60%)は4割が否定しており、進路支援策の拡充がまだ十分ではないとの見方がある。一方、「生徒の職業観・勤労観の確立を目指した進路指導に努めている」(100%)については非常に高い評価が示されている。

〔10. 環境美化〕

「教職員の共通理解の下、十分な清掃指導をおこなっている」(肯定的回答 80%)や「環境美化活動を年間計画に沿って、計画的に実施している」(同 100%)といった結果から、校内美化の取り組みに関しては肯定的評価が高い。教職員の自己評価(75.0%・94.9%)に比べても、学校関係者の満足度がわずかに上回っている。

〔11. 健康と安全〕

「生徒の健康管理を目的とした定期健康診断を円滑に実施している」(肯定的回答 80%)や「性教育や薬物乱用防止教育を適切に実施している」(同 100%)など、健康・安全面に対する評価もおおむね高い。防災教育や安全教育(80%)も大きな問題は示されておらず、教職員の自己評価と同様に安心感がうかがえる。

〔12. 家庭や地域社会と学校との連携〕

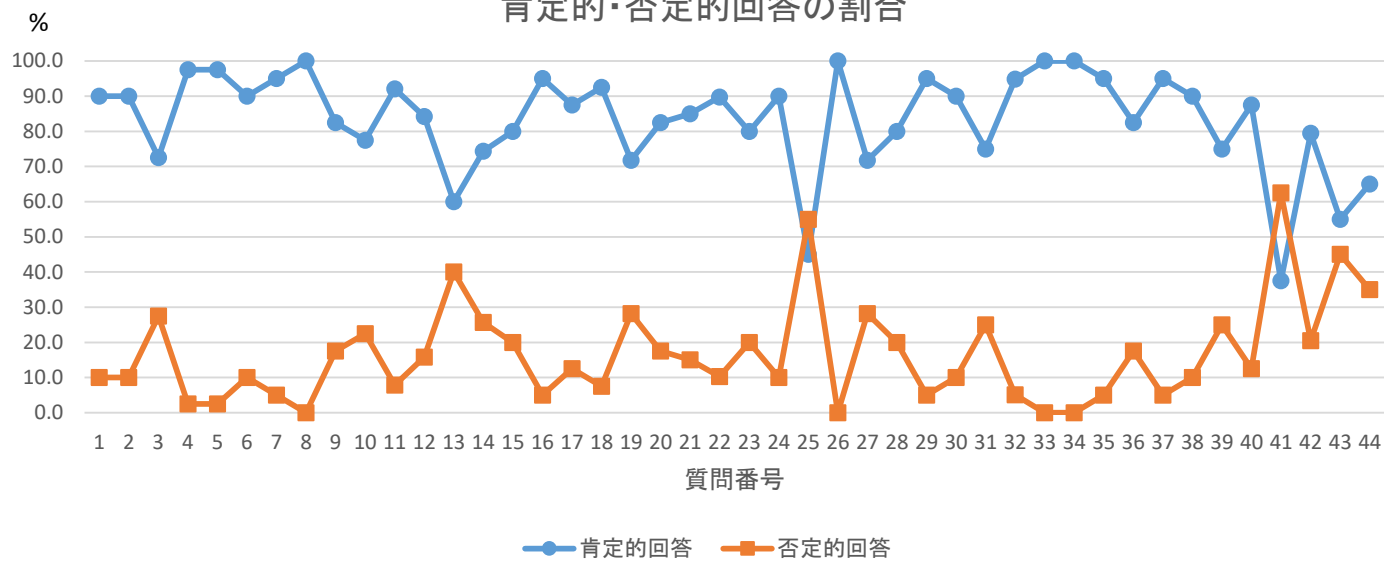
「教職員と保護者が力を合わせ、PTA活動の連携強化を図っている」(肯定的回答 100%)や「学校が実施した教育活動等の情報を保護者や地域へ適切に発信している」(同 100%)など、対外的な連携において極めて高い評価が示されている。さらに、「近隣の中学校と連携を図り、教育活動の改善や充実に取り組んでいる」(同 100%)や「北谷町教育委員会と連携を図り、教育活動の改善や充実に取り組んでいる」(同 100%)など、地域や行政機関との協力体制も非常に良好である。

以上の結果から、教職員による自己評価と学校関係者による評価の双方において、学校全体の教育活動や運営方針がおおむね高く評価されていることがうかがえる。一方、ICT 活用や読書指導、規範意識・社会性育成にかかわる指導の一部、さらに働き方改革の観点から見た教職員の業務負担などの分野には、改善の余地が示されている。今後は、これらの課題を的確に捉え、具体的な改善策を講じることで、より充実した教育環境の実現を図る必要があると考えられる。

【教職員評価】

質問 番号	項目	具体的目標	評価項目	肯定的 回答	否定的 回答
1	学校経営	教育目標及び努力目標	教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、生徒の実態に即し、適切な内容である	90.0	10.0
2			教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、教職員間で十分に共通理解されている	90.0	10.0
3			教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、特色ある学校づくりが織り込まれ、適切に立てられている	72.5	27.5
4	教育計画	行事等の精選等	教育計画は、学校運営方針に基づき、適切に立案されている	97.5	2.5
5			教育計画は、年間計画に基づき、適切に実施されている	97.5	2.5
6	学習指導	学習指導の工夫・改善	生徒の基礎学力の定着を目指した学習指導を適切におこなっている	90.0	10.0
7			生徒の学力向上を目指し、創意工夫した授業を実践している	95.0	5.0
8			学習評価の適正化に努めている	100.0	0.0
9			教育課程は、生徒の実態に即し、適切に編成されている	82.5	17.5
10			一人一台端末(タブレット等)を活用した授業の工夫に取り組んでいる	77.5	22.5
11	研究研修	校内研修の充実	学校経営方針の実現と教職員の資質向上を目指し、職員研修を計画的に実施している	92.1	7.9
12	図書視聴覚	図書・視聴覚の充実	図書館、視聴覚機器、IT機器等を効果的に活用している	84.2	15.8
13			生徒に対する読書指導に力を入れて取り組んでいる	60.0	40.0
14	総合的な探究	キャリア教育の充実	「総合的な探究の時間」は内容が充実し生徒は意欲的に参加している	74.4	25.6
15			生徒の自己理解や自己実現につながるキャリア教育が実践されている	80.0	20.0
16	特別活動	生徒の活動の充実	生徒会活動は、活発である	95.0	5.0
17			学校行事やHR活動を通して生徒の主体性の育成に取り組んでいる	87.5	12.5
18	進路指導	進路指導の充実強化	進路指導部と学年会が連携した適切な進路指導がおこなわれている	92.5	7.5
19			生徒の多様な進路に対応した教育課程の改善に努めている	71.8	28.2
20			キャリア教育の視点での教科指導の充実に努めている	82.5	17.5
21			生徒の希望進路やニーズに応じた課外講座を開設している	85.0	15.0
22			進路指導は、生徒の職業観や勤労観を育んでいる	89.7	10.3
23			面接指導やマナー指導などの指導強化に努めている	80.0	20.0
24	生徒指導	生徒指導の充実強化	生徒の人権に配慮した校則の見直しに取り組んでいる	90.0	10.0
25			生徒に対し、「身なり指導」に力を入れている	45.0	55.0
26			生徒・職員の人権意識の高揚や生命尊重、いじめ防止等の取り組みを適切に行っている	100.0	0.0
27			生徒の基本的な生活習慣が確立するよう、適切な指導をおこなっている	71.8	28.2
28			生徒に対する安全教育や自己の危機管理能力を育成するための指導を適切におこなっている	80.0	20.0
29			カウンセラーと学級担任が連携し、充実した生徒支援体制を築いている	95.0	5.0
30			学年主任を中心とする学年会が効果的に活動している	90.0	10.0
31	環境美化	校内美化及び施設・設備の充実	清掃指導は、全職員が共通理解の下で、十分に取組まれている	75.0	25.0
32			日々の環境美化活動は、年間を通し、計画的に実施されている	94.9	5.1
33	健康安全	心身の健康と安全の強化	定期健康診断や諸検査を円滑に実施し、生徒の健康管理を適切におこなっている	100.0	0.0
34			生徒に対し、性教育や薬物乱用防止教育を適切におこなっている	100.0	0.0
35			生徒に対し、防災教育を適切におこなっている	95.0	5.0
36	家庭地域社会との連携	生徒・保護者との信頼関係の構築	PTA活動は、教職員と保護者が連携し、充実している	82.5	17.5
37			学校の情報を保護者や地域へ適切に発信している	95.0	5.0
38			近隣中学校と連携し、教育活動の改善や充実に取り組んでいる	90.0	10.0
39			北谷町教育委員会と連携し、教育活動の改善や充実に取り組んでいる	75.0	25.0
40	働き方改革	3軸・6視点	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています	87.5	12.5
41			個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています	37.5	62.5
42			一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています	79.5	20.5
43			より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している	55.0	45.0
44			心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	65.0	35.0

肯定的・否定的回答の割合



【学校関係者評価】

質問	項目	具体的目標	評価項目	肯定的回答	否定的回答
1	学校経営	教育目標及び努力目標	教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、生徒の実態に即し、適切な内容である	80	20
2	学校経営	教育目標及び努力目標	教育目標や学校経営方針、スクールポリシーは、教職員と保護者で共通理解が図られている	80	20
3	教育計画	行事等の精選等	教育計画は、学校運営方針に基づき、適切に立案されている	80	20
4	教育計画	行事等の精選等	教育計画に基づき、適切に教育活動を実践している	80	20
5	学習指導	学習指導の工夫・改善	教員は、基礎・基本の定着を図る学習指導を適切におこなっている	80	20
6	学習指導	学習指導の工夫・改善	教員は、生徒個々の実態に応じた授業の工夫に努めている	80	20
7	学習指導	学習指導の工夫・改善	教員は、生徒の成績を、公正・適正に評価している	60	40
8	学習指導	学習指導の工夫・改善	教育課程は、生徒の実態に即し、適切に編成されて	80	20
9	学習指導	学習指導の工夫・改善	一人一台端末(タブレット等)を活用した授業の工夫に取り組んでいる	40	60
10	研究	校内研修	教職員の資質向上を目的とした校内研修を計画に実施している	80	20
11	図書視聴覚	図書・視聴覚の充実	図書館、視聴覚機器、IT機器等を有効に活用している	60	40
12	図書視聴覚	図書・視聴覚の充実	読書指導の強化に努めている	40	60
13	総合的な探究	キャリア教育の充実	生徒の個性や興味・関心を理解し、個々の適性に合ったキャリア教育を進めている	100	0
14	特別活動	生徒の活動の充実	生徒会の活動(生徒による主体的、自治的な活動)は、活発である	80	20
15	特別活動	生徒の活動の充実	生徒の学習活動と部活動をバランスよくおこなっている	80	20
16	生徒指導	生徒指導の充実強化	生徒の規範意識を向上させるために、身なり指導に力を入れている	60	40
17	生徒指導	生徒指導の充実強化	生徒・職員の人権意識の高揚や生命尊重、いじめ防止等の取り組みを適切に行っている	100	0
18	生徒指導	生徒指導の充実強化	生徒の基本的な生活習慣を確立するために、適切な指導をおこなっている	80	20
19	生徒指導	生徒指導の充実強化	生徒の非行防止と安全確保のために、自己の危機管理意識を育む安全指導に力を入れている	80	20
20	生徒指導	生徒指導の充実強化	カウンセラーと学級担任との連携が取れ、教育相談体制が充実している	80	20
21	進路指導	進路指導の充実強化	進路指導は、教員間の連携の下、適切におこなわれている	80	20
22	進路指導	進路指導の充実強化	生徒の進路活動を支援する授業実践がおこなわれて	60	40
23	進路指導	進路指導の充実強化	生徒が希望する進路やニーズに応じ、課外講座等の開設に努めている	60	40
24	進路指導	進路指導の充実強化	生徒の職業観・勤労観の確立を目指した進路指導に努めている	100	0
25	進路指導	進路指導の充実強化	生徒の社会性を育むために面接指導やマナーアップ指導を強化している	40	60
26	環境美化	校内美化及び施設・設備の充実	教職員の共通理解の下、十分な清掃指導をおこなっている	80	20
27	環境美化	校内美化及び施設・設備の充実	環境美化活動を年間計画に沿って、計画的に実施している。	100	0
28	健康と安全	心身の健康と安全の強化	生徒の健康管理を目的とした定期健康診断を円滑に実施している	80	20
29	健康と安全	心身の健康と安全の強化	生徒に対し、性教育や薬物乱用防止教育を適切に実施している	100	0
30	健康と安全	心身の健康と安全の強化	生徒に対し、安全教育や防災教育を適切におこなっている	80	20
31	家庭や地域社会と学校との連	生徒・保護者との信頼関係の構築	教職員と保護者が力を合わせ、PTA活動の連携強化を図っている	100	0
32	家庭や地域社会と学校との連	生徒・保護者との信頼関係の構築	学校が実施した教育活動等の情報を保護者や地域へ適切に発信している	100	0
33	家庭や地域社会と学校との連	生徒・保護者との信頼関係の構築	近隣の中学校と連携を図り、教育活動の改善や充実に取り組んでいる	100	0
34	家庭や地域社会と学校との連	生徒・保護者との信頼関係の構築	北谷町教育委員会と連携を図り、教育活動の改善や充実に取り組んでいる	100	0
35	家庭や地域社会と学校との連	生徒・保護者との信頼関係の構築	学校経営は、学校関係者(学校評議員やPTA役員)の意見が反映されている	100	0

